

2006年4月

大学院看護学看護学研究科
看護学専攻（修士課程）が誕生します。

新潟県立看護大学



大学院看護学研究科(修士課程)の開設にあたって

学長 中島 紀恵子

研究科では、「地域文化に根ざした看護学の考究」の使命をさらに推進し、看護学と看護ケアの質の向上のために、実践的・実証的教育研究の開発を通して、社会に寄与することを目指します。

また、働いている方も無理なく修学ができるように土曜・日曜の開講や長期履修制度(標準2年の修学年限を3年とするもの)を実施します。また、看護の専門分野でのキャリアアップのため専門看護師(CNS)資格取得に対応した授業科目も用意しています。

皆さまの入学を心からお待ちしています。

■ 受験資格について

次の各号のいずれかに該当する人は出願することができます。

(1) 国内・国外の大学を卒業した者(及び卒業見込みの者)

(2) 本学大学院の個別の審査によって、認められた者

注 (2)に該当して出願しようとする人は、事前に本学大学院の「出願資格事前審査」を受ける必要があります。この審査基準は、以下のとおりです。(ア又はイのいずれかに要該当)

ア 大学在学3年以上、又は外国において15年の教育課程修了者で、英語のレベルが実用英語技能検定2級(TOEFL460点、TOEIC470点、その他同等)以上の者

イ 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業(修了)者で、看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有しており、かつ、次の①から③のうちのいずれかに該当する者

① 資格者としての実務経験が5年以上あるか、又は看護師長等以上の職位の経験がある者

② 研修学校(厚生労働省、看護協会、都道府県などの公的機関又はそれに相当する機関)における6カ月以上の看護教員養成課程等又は継続教育課程を修了している者

③ 英語のレベルが実用英語技能検定2級(TOEFL460点、TOEIC470点、その他同等)以上の者

■ 長期履修制度について

本大学院研究科(修士課程)の標準の履修年限は2年ですが、働いている方などが修学しやすいように、年限を3年とする長期履修制度を設けます。

なお、授業料については、「修学年限2年分」=「修学年限3年分」として、双方の合計額が同額で済むように定めています。

■ 教育課程の特色について

専門科目は、「看護の質保証領域」、「臨床実践看護学領域」と「地域生活看護学領域」の3つの領域から成っています。

『看護の質保証領域』

複雑かつ高度化していく医療技術の流れの中で、施設・在宅に関わらず適切で質の高い看護サービスを提供するシステムの分析や開発ができる行政能力・看護管理能力の修得を目的としており、「医療倫理」と「看護管理学」の2分野で構成されています。

『臨床実践看護学領域』

人のライフサイクルの変化に伴う看護の高度臨床実践能力の修得を目的としており、「母子看護学」、「成人慢性・障害看護学」と「がん看護学」の3分野で構成されています。

『地域生活看護学領域』

個人-家族-地域社会の繋がりに着目して、高齢者や地域に生活する人々に対する多様な看護実践や看護技術の修得を目的としており、「老年看護学」と「地域看護学」の2分野で構成されています。

□ 専門看護師 (CNS) 教育課程について

専門看護師のうち、「成人看護(慢性)」「がん看護」「老年看護」「地域看護」の4分野について、資格取得に対応できる内容の授業科目を配置しております。

●●● 授 業 科 目 ●●●

共通科目 (必修)

看護学研究法(質的・量的) 看護理論

専門科目 (選択)

■ 看護の質保証領域 ……

「医療倫理」

臨床倫理 看護倫理特論 看護技術特論

「看護管理学」

在宅ケア提供組織活動論 看護経営・管理論 看護人材開発論
クリティカルケアマネジメント論 看護政策論

■ 臨床実践看護学領域 ……

「母子看護学」

母子看護学方法論 周産期母子看護援助展開論 母子家族関係特論
障害母子看護援助展開論 母子看護学特別演習

「成人慢性・障害看護学」

成人慢性・障害看護学方法論 成人慢性・障害看護援助展開論
成人慢性・障害看護学特別演習Ⅰ 成人慢性・障害看護学特別演習Ⅱ

「がん看護学」

がん看護学方法論 がん看護援助展開論
がん看護学特別演習Ⅰ がん看護学特別演習Ⅱ

■ 地域生活看護学領域 ……

「老年看護学」

老年看護学方法論 老年看護援助展開論 認知症看護論
老年期リハビリテーション看護論 老年看護学特別演習Ⅰ
老年看護学特別演習Ⅱ

「地域看護学」

地域看護学方法論 地域看護援助展開論 学校保健・養護教育展開論
産業看護展開論 地域看護学特別演習Ⅰ 地域看護学特別演習Ⅱ

共通科目 (選択)

文献講読 看護情報統計学 病態治療学特論 運動機能障害学特論
形態機能学特論 環境疫学 人類学概論 対人関係特論
健康社会学 環境心理学

専門科目 (必修)

看護学領域特別研究(修士論文)



■ 大学院の概要

名称 新潟県立看護大学大学院看護学研究科
 専攻 看護学専攻
 課程 修士課程
 修学年限 2年（長期履修制度利用の方は3年）
 取得学位 修士（看護学）
 入学定員 15名
 開設年月 平成18年4月

■ 試験日程

平成18年2月（予定）
 ※詳細は「2006年度新潟県立看護大学大学院研究科（修士課程）学生募集要項」（11月作成予定）を請求の上、ご確認ください。

■ 試験科目

① 外国語（英語）
 ② 看護専門科目
 ③ 面接
 ※詳細は「2006年度新潟県立看護大学大学院研究科（修士課程）学生募集要項」（11月作成予定）を請求の上、ご確認ください。

■ 交通案内

○JR利用の場合
 JR高田駅下車、高田駅前案内所又は本町4丁目から中央病院行きバス、又は上牧・宇津の俣行きバスに乗車（所要時間13分）、看護大学下車
 ○自家用車利用の場合
 北陸自動車道上越ICから10分又は上信越自動車道上越高田ICから10分

■ 所在地

〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地

■ お問い合わせ

新潟県立看護大学事務局
 TEL.025-526-2811 FAX.025-526-2815
 E-mail:kyoumu@niigata-cn.ac.jp

